

事業番号	05 03 05	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医師研究資金貸与事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	医療推進課医師確保対策室	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり					
		3 医療従事者の養成・確保			実施期間	H19 ～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	2-2 若者のライフデザインの希望実現 4-5 信州創生を担う人材の確保・育成					
	施策展開	4-(3)地域の絆に立脚する「しあわせ健康県」の実現 イ 医療・介護体制の整備 (イ)医療・介護人材の育成・確保					

1 事業の概要

目指す姿	・医師不足が特に深刻な診療科の医師を確保するため、県外から即戦力となる医師に医師研究環境整備資金を貸与する。また、全国的に数が少ないがん治療等に従事する専門医については、県内の医師にがん診療専門医確保資金を貸与し、養成・確保を図る。 成果目標：人口10万人当たり医療従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29) 参考 216.8人(H26)					
現状（予算編成時）	○産科をはじめとした特定の診療科の医師不足は、依然として深刻な状況であり、即戦力の医師を確保する必要がある。 ○がん治療等に従事する専門医は、全国的に少ない状況であり、育成していく必要がある。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）		【左記の説明、根拠法令等】 長野県医師研究資金貸与規程			
	県民との協働による実施：実施は困難					
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	医師研究資金貸与者数、貸与を受け県内に定着した医師数ともに、5人を目指す。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算)		H29 (当初)
	医師研究環境整備資金貸与事業	直接	分娩を扱う産科、外科、麻酔科、放射線科、脳神経外科等の医師に対し、資金を貸与	12,000	3,000	12,000
	がん等専門医養成支援事業	直接	がん薬物療法専門医、放射線治療専門医、病理専門医、血液専門医の取得を行う医師に対し、資金を貸与	3,000	0	3,000
			合計	15,000	3,000	15,000

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
		当初予算	30,000	15,000	15,000				目標	成果		達成状況
		補正予算				医師研究資金貸与者	3	6	5	1	未達成	-
		合計(A)	30,000	15,000	15,000	貸与を受け県内に定着した医師数	3	6	5	1	未達成	-
	Aの財源	一般財源	6,000	6,000	6,000							
		県債										
		国庫支出金										
		その他	24,000	9,000	9,000							
	決算額(B)	15,000	3,000									
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10								
概算人件費	概算人件費(C)	828	791	791								
概算事業費(B(A)+C)		15,828	3,791	15,791								

目標に対する成果の状況	県外から転入する産科医1人に資金を貸与し、即戦力となる医師を確保した。 制度の周知に努めたが、該当する医師からの申し込みがなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、医師不足が著しい診療科の即戦力の医師の確保に努めていく。 更なる活用を促すため、様々な機会を利用した制度の周知に努める。